患者向医薬品ガイド

２０２５年１月更新

アジレクト錠１ｍｇ
アジレクト錠０．５ｍｇ

【この薬は？】

販売名	アジレクト錠１ｍｇ Azilect Tablets１ｍｇ	アジレクト錠０．５ｍｇ Azilect Tablets０．５ｍｇ
一般名	ラサギリンメシル酸塩 Rasagiline Mesilate	
含有量 （１錠中）	ラサギリンメシル酸塩 １．５６ｍｇ （ラサギリンとして１ｍｇ）	ラサギリンメシル酸塩 ０．７８ｍｇ （ラサギリンとして０．５ｍｇ）

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

・この薬は、パーキンソン病治療剤と呼ばれるグループに属する薬です。
・この薬は、脳内でドパミンの分解を抑制して、脳内のドパミン濃度を増加させ、パーキンソン病症状を改善します。
・次の病気の人に処方されます。
パーキンソン病
・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

〇次の人は、この薬を使用することはできません。

・他のＭＡＯ阻害薬〔モノアミン酸化酵素阻害薬〕（セレギリン塩酸塩およびサフィナミドメシル酸塩）を使用中の人

・ペチジン塩酸塩含有製剤、トラマドール塩酸塩またはタペンタドール塩酸塩を使用中の人

・三環系抗うつ薬（アミトリプチリン塩酸塩、アモキサピン、イミプラミン塩酸塩、クロミプラミン塩酸塩、ドスレピン塩酸塩、トリミプラミンマレイン酸塩、ノルトリプチリン塩酸塩およびロフェプラミン塩酸塩）、四環系抗うつ薬（マプロチリン塩酸塩、ミアンセリン塩酸塩およびセチプチリンマレイン酸塩）、ＳＳＲＩ〔選択的セロトニン再取り込み阻害薬（フルボキサミンマレイン酸塩、パロキセチン塩酸塩水和物、セルトラリン塩酸塩およびエスシタロプラムシュウ酸塩）〕、セロトニン再取り込み阻害・セロトニン受容体調節薬（ボルチオキセチン臭化水素酸塩）、ＳＮＲＩ〔セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害薬（ミルナシプラン塩酸塩、デュロキセチン塩酸塩およびベンラファキシン塩酸塩）〕、ＮＲＩ〔選択的ノルアドレナリン再取り込み阻害薬（アトモキセチン塩酸塩）〕、リスデキサンフェタミンメシル酸塩、メチルフェニデート塩酸塩、メタンフェタミン塩酸塩、マジンドール、ＮａＳＳＡ〔ノルアドレナリン・セロトニン作動性抗うつ薬（ミルタザピン）〕、塩酸テトラヒドロゾリン・プレドニゾロン、ナファゾリン硝酸塩、トラマゾリン塩酸塩またはアプラクロニジン塩酸塩を使用中の人

・肝臓に中等度以上の障害がある人

・過去にアジレクト錠に含まれる成分で過敏症のあった人

〇次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

・低体重の人

・肝臓に軽度の障害がある人

・妊婦または妊娠している可能性のある人

・授乳中の人

〇この薬には併用してはいけない薬［ＭＡＯ阻害薬（セレギリン塩酸塩（エフピー）、サフィナミドメシル酸塩（エクフィナ））、ペチジン塩酸塩含有製剤（ペチロルファン）、トラマドール塩酸塩（トラマール）、タペンタドール塩酸塩（タペンタ）、三環系抗うつ薬（アミトリプチリン塩酸塩（トリプタノール）、アモキサピン（アモキサン）、イミプラミン塩酸塩（トフラニール）、クロミプラミン塩酸塩（アナフラニール）、ドスレピン塩酸塩（プロチアデン）、トリミプラミンマレイン酸塩（スルモンチール）、ノルトリプチリン塩酸塩（ノリトレン）、ロフェプラミン塩酸塩（アンプリット））、四環系抗うつ薬（マプロチリン塩酸塩（ルジオミール）、ミアンセリン塩酸塩（テトラミド）、セチプチリンマレイン酸塩（テシプール））、ＳＳＲＩ（フルボキサミンマレイン酸塩（ルボックス、デプロメール）、パロキセチン塩酸塩水和物（パキシル）、セルトラリン塩酸塩（ジェイゾロフト）、エスシタロプラムシュウ酸塩（レクサプロ））、セロトニン再取り込み阻害・セロトニン受容体調節薬（ボルチオキセチン臭化水素酸塩（トリンテリックス））、ＳＮＲＩ（ミルナシプラン塩酸塩（トレドミン）、デュロキセチン塩酸塩（サインバルタ）、ベンラファキシン塩酸塩（イフェクサー））、ＮＲＩ（アトモキセチン塩酸塩（スト

ラテラ))、リスデキサンフェタミンメシル酸塩（ビバンセ）、メチルフェニデート塩酸塩（コンサータ、リタリン）、メタンフェタミン塩酸塩（ヒロポン）、マジンドール（サノレックス）、ＮａＳＳＡ（ミルタザピン（レメロン、リフレックス））、塩酸テトラヒドロゾリン・プレドニゾロン（コールタイジン）、ナファゾリン硝酸塩（プリビナ）、トラマゾリン塩酸塩（トラマゾリン）、アプラクロニジン塩酸塩（アイオピジン）］や、併用を注意すべき薬や飲食物などがあります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	アジレクト錠１ｍｇ
一回量	１錠
飲む回数	１日１回

・肝臓に軽度の障害がある人、低体重の人、高齢の人、シプロフロキサシンを服用中の人は低用量（１日０．５ｍｇ）を飲むことがあります。

●どのように飲むか？

コップ１杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して２回分を一度に飲まないでください。
気がついた時に、１回分を飲んでください。ただし、次に飲む時間が近い場合は１回とばして、次の時間に１回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

軽躁（けいそう）、高血圧クリーゼ（頭痛、肩こり、めまい、目のかすみ、意識の低下、意識の消失、吐き気、鼻出血）、セロトニン症候群（急に精神的に落ち着かなくなる、体が震える、汗が出る、脈が速くなる、発熱、筋肉のこわばり、手足のぴくつき）などがあらわれる場合があります。また、レボドパ含有製剤との併用で、高血圧または起立性低血圧（脱力感、めまい、ふらつき、立ちくらみ、気を失う）などの心血管系の副作用があらわれる場合があります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、使用を中止し、ただちに医師に連絡してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

・起立性低血圧または低血圧があらわれることがあります。めまい、立ちくらみ、ふらつき、失神などの症状があらわれたら医師に相談してください。
・この薬を飲むと、傾眠、突発的睡眠または睡眠発作があらわれることがあります。この薬を使用中は自動車の運転や機械の操作、高いところでの作業など危険を伴う作業はしないでください。
・社会的に不利な結果を招くにもかかわらずギャンブルや過剰で無計画な買い物を繰り返したり、性欲や食欲が病的に亢進（こうしん）するなど、衝動が抑えられない症状があらわれることがあります。患者さんや家族の方は、医師からこれら

について理解ができるまで説明を受けてください。また、これらの症状があらわれた場合には医師に相談してください。
・レボドパ含有製剤との併用で、ジスキネジア（意志に反して舌を動かしたり、出し入れしたり、絶えず噛むような口の動き、意志に反して体が動く）などのレボドパの副作用が強まることがあります。レボドパとこの薬を併用したことによる副作用がおこった場合は医師に相談してください。
・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
・授乳している人は、医師に相談してください。
・セイヨウオトギリソウ（St.John's Wort（セント・ジョーンズ・ワート））を含有する食品は、この薬に影響しますので、控えてください。
・喫煙は控えてください。
・チーズ、ビール、赤ワイン等、チラミンを多く含む飲食物を飲んだり食べたりすることは控えてください。
・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

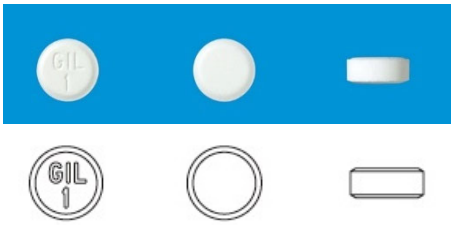
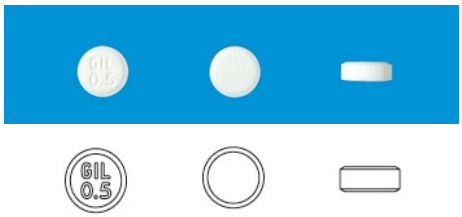
特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。
このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
起立性低血圧 きりつせいていけつあつ	脱力感、めまい、ふらつき、立ちくらみ、気を失う
傾眠 けいみん	刺激がないと眠ってしまう
突発的睡眠 とっぱつてきすいみん	突然の耐えがたい眠気
幻覚 げんかく	実際には存在しないものを存在するかのように感じる
衝動制御障害 しょうどうせいぎょしょうがい	社会的に不利な結果を招くにもかかわらずギャンブルを繰り返す、病的に性欲が亢進する、過剰で無計画な買い物を持続的に繰り返す、病的に食欲が亢進する
セロトニン症候群 セロトニンしょうこうぐん	急に精神的に落ち着かなくなる、体が震える、汗が出る、脈が速くなる、発熱、筋肉のこわばり、手足のぴくつき、下痢、皮膚に赤みがさす
悪性症候群 あくせいしょうこうぐん	高熱、汗をかく、ぼーっとする、手足のふるえ、体のこわばり、話しづらい、よだれが出る、飲み込みにくい、脈が速くなる、呼吸数が増える、血圧が上昇する

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。
これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	脱力感、ふらつき、体が震える、汗が出る、発熱、高熱、汗をかく、体のこわばり
頭部	めまい、立ちくらみ、気を失う、刺激がないと眠ってしまう、突然の耐えがたい眠気、実際には存在しないものを存在するかのように感じる、社会的に不利な結果を招くにもかかわらずギャンブルを繰り返す、病的に性欲が亢進する、過剰で無計画な買い物を持続的に繰り返す、病的に食欲が亢進する、急に精神的に落ち着かなくなる、ぼーっとする
口や喉	話しづらい、よだれが出る、飲み込みにくい
胸部	呼吸数が増える
手・足	脈が速くなる、手足のぴくつき、手足のふるえ
皮膚	皮膚に赤みがさす
筋肉	筋肉のこわばり
便	下痢
その他	血圧が上昇する

【この薬の形は？】

販売名	アジレクト錠１ｍｇ	アジレクト錠０．５ｍｇ
ＰＴＰシート		
形状	素錠 上面　下面　側面 	素錠 上面　下面　側面 
直径	８．０ｍｍ	６．５ｍｍ
厚さ	３．２ｍｍ	２．４ｍｍ
重さ	２１０ｍｇ	１０５ｍｇ
色	白色～ほとんど白色	白色～ほとんど白色
識別コード	ＧＩＬ　１	ＧＩＬ　０．５

【この薬に含まれているのは？】

販売名	アジレクト錠１ｍｇ	アジレクト錠０．５ｍｇ
有効成分	ラサギリン （ラサギリンメシル酸塩）	
添加剤	D-マンニトール、トウモロコシデンプン、部分アルファー化デンプン、ステアリン酸、タルク、軽質無水ケイ酸	

【その他】

●この薬の保管方法は？

・直射日光と湿気を避けて室温（１～３０℃）で保管してください。
・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

・絶対に他の人に渡してはいけません。
・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：武田薬品工業株式会社（https://www.takeda.com/jp/）
くすり相談室
フリーダイヤル　0120-566-587
受付時間　9：00～17：30（土日祝日・弊社休業日を除く）